



2026年10月14日

各 位

会 社 名 エコモット株式会社
代表者名 代表取締役社長 入澤 拓也
(コード: 3987、東証グロース、札証アンビシャス市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 武田 研輔
(TEL. 011-558-2211)

2026年8月期（連結・個別）通期業績予想と実績の差異及び特別損失計上ならびに
法人税等調整額(損)計上に関するお知らせ

2025年10月14日に公表いたしました2026年8月期（連結・個別）の通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年8月期 通期連結業績予想と実績の差異（2025年9月1日～2026年8月31日）

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	2,428	56	61	41	7.94
今回実績値 (B)	2,216	△232	△227	△174	△33.87
増 減 額 (B - A)	△211	△288	△288	△215	
増 減 率 (%)	△8.7	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (2025年8月期)	3,003	49	53	△35	△6.68

2. 2026年8月期 通期個別業績予想と実績の差異（2025年9月1日～2026年8月31日）

	売 上 高 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	当 期 純 利 益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	1,405	26	18	3.48
今回実績値 (B)	1,151	△135	△111	△21.55
増 減 額 (B - A)	△253	△161	△129	
増 減 率 (%)	△18.1	—	—	
(参考) 前期個別実績 (2025年8月期)	1,413	9	△157	△30.04

3. 差異の理由

(1) 連結業績

IoT ビジネスイノベーションにおいて当初計画していた EPC 事業の連系遅れに伴う、納期遅延（120 百万）および、大型案件が失注・仕様変更等により、売上高約 300 百万円、営業利益約 100 百万円のそれぞれ減少となりました。コンストラクションソリューションにおいては、今後の業務効率化を目指したシステム導入等の設備投資が先行し、営業利益約 50 百万円の減少となりました。その他事業である株式会社藤山水産加工においては、2025 年 12 月 31 日に事業停止、2026 年 3 月 2 日の株式譲受後から事業を再開し営業・生産体制の構築に時間を要しており、売上高約 120 百万円を計上し毎月売上は良化しているものの、固定費回収までには至らず営業損失約 40 百万円を計上いたしました。また、各事業において資材高騰化の影響を受け、合計営業利益約 100 百万円の減少となりました。以上の結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が計画値を下回る結果となりました。

当社が保有していた投資有価証券の評価損による特別損失 14 百万円を計上しております。

また、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当第 4 四半期会計期間において繰延税金資産の取り崩しを行い、法人税等調整額(損)を 24,825 千円計上いたしました。

(2) 個別業績

当期個別業績につきましては、IoT ビジネスイノベーションにおいて当初計画していた EPC 事業の連系遅れに伴う、納期遅延（120 百万）および、大型案件が失注・仕様変更等により、売上高約 300 百万円、営業利益約 100 百万円それぞれ減少し、売上高及び経常利益が計画値を下回る結果となりました。

当社が保有していた投資有価証券の評価損による特別損失 14 百万円を計上しております。

また、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当第 4 四半期会計期間において繰延税金資産の取り崩しを行い、法人税等調整額(損)を 17,538 千円計上いたしました。

以 上